

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう



ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2015年度 Vol.1



環境学習講座のご案内

子ども向け、
大人向け講座
開催予定!

小学生

8月のDNA抽出実験にチャレンジ!

クイズ・実験を通して、生物の多様性などについて学びます。

(*小学3年生以下は保護者同伴)
開催日/8月9日(日)
募集/7月11日から
講師/深澤秀治氏
(環境教育振興協会理事)



DNAなんて
博士みたい!

小学生

太陽エネルギーでお湯を作ろう

太陽と地球の関係、太陽エネルギーの利用について学び、実験を通して、太陽エネルギーの大きさを実感します。

(*小学3年生以下は保護者同伴)
開催日/8月16日(日)
募集/7月11日から
講師/石川洵氏
(石川光学造形研究所代表取締役)



大人向け

大人のおもしろ気象学

なぜ天気予報は100点が取れないのか?天気予報はどのようにして作られるのか?なぜ気象災害は過激になっていくのか?など、天気の不思議について学びます。(対象:中学生以上)

開催日/9月13日(日)
募集/8月21日から
講師/平沼洋司氏
(元気象庁予報官 気象予報士)



大人向け

さき布から「ぞうり」を作ろう

2日で一足を仕上げる講座です♪
(対象:2日とも参加していただける方、中学生以上)
開催日/9月25日(金)、27日(日)
募集/8月21日から
講師/宮嶋清司氏
(ぞうり研究家)



大人向け

都会の鳥~観察と発見の楽しみ

身近に生活しているスズメやツバメ、カラスなどの生態を通して人と都市環境について考えます。何十年にわたって観察を継続してみると、それまで気づかなかった新しい発見があります。

(対象:中学生以上)
開催日/10月18日(日)
募集/9月21日から
講師/唐沢孝一氏
(自然観察大学学長)



小学生

光の科学実験で不思議体験をしよう

学研教材を使って工作と実験をします。
(*小学3年生以下は保護者同伴)
開催日/10月4日(日)
募集/9月1日から
講師/学研教育出版



講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。
応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわ ECOフェスティバル2015



5月24日(日)晴天の下、'しながわECOフェスティバル2015'が開催されました。

当日の東京の最高気温は26.0℃で、日差しが強く、日向では夏を思わせる暑さでした。

(1)「ごみゼロ」を目指しました

ごみは持ち帰りが原則です。ごみの量は年々減少しているそうですが、今後も更に減らしたいですね。これには参加者皆さんの協力が第一です。会場の割り箸は国産間伐材・端材を使用しました。今回も回収型容器「リ・リパック」(食のブースで使用)が使われていました。これは容器(トレイ)の内側にフィルムが貼ってあり、使用後はそれをはがして、フィルムは燃えるごみに、トレイは別途回収して資源としてリサイクルするというものです。



(2)公園会場の使用電力

公園会場における使用電力は廃油を再利用したバイオ燃料を使った自家発電とグリーン電力によって賄われていました。

(3)エコカー

水しか排出しない「燃料電池車」の実用化が始まっています。これまで問題と



燃料電池車

されていたコストとインフラの整備が進みつつあります。一方、一部分野で普及しつつある「電気自動車」ですが、ともに走行中に二酸化炭素を全く排出しないという共通点があります。今後が期待されるこれらエコカーの試乗会がありました。試乗した人は「非常に静かで、快適な乗り心地でした」と話してくれました。



電気自動車

(4)小学生が保護者と参加したワークショップ

絵手紙とけしごむハンコ作り、アクリルたわし編み、ペットボトルで雲作りなど、楽しい工作や実験がありました。



その他にもさまざまな企画があり、参加者は楽しい1日を過ごすことができたと思います。

環境記者活躍中

古着リサイクル活動の紹介

西中延三丁目町会婦人部有志による、古着のリサイクルについて報告いたします。

目的は古着の活用と吊飾りの制作です

三年前の4月、9名の有志により、古着のリサイクルを目的とした吊飾りの制作を始めたそうです。家で眠っている古い着物は歴史と愛着があり、吊飾りへの変身は皆様を引き付ける何かがあるようです。月一回制作発表の機会を設けて制作してきたところ、題材の造形(節句用の吊飾り等)による作品が100件以上完成し、区の第4地域センター会議室に

於いて展示会を開催し、約150名の見学者を迎えての会となったそうです。

環境記者 中西義治氏



“緑のカーテンを作しましょう” 4月19日

講師 しがわ区民公園管理事務所長 丸山 均 氏

前半は種まきから苗の植え付けまでで、講師の昨年の観察記録、育成環境、適温、用土、肥料等の詳しい解説がありました。



講師の観察記録から

後半は実習で、はじめにゴーヤ、ヘチマ、アサガオの三種類の種が配られました。紙のプレートに日付を入れて差し込み、たっぷりとお水をやりをしました。

本日の実習はここまでです。家に持ち帰り、本葉が2~4枚揃ったら本植えです。プランターに鉢底石、赤玉土、培養土の順に入れ、苗を植え付け、水をたっぷり与えます。40日ほどでツルが伸び出し、添え木が必要になります。



講座出席者からのお便り(5月23日現在)

4月19日(日)環境学習講座「緑のカーテンを作ろう」に参加。種まきして10日後の状態です。アサガオが最初に発芽しました。(4月28日撮影)
18日目にゴーヤも発芽。
一番に発芽したゴーヤは勢いが違います。(5月7日撮影)



ゴーヤ

ヘチマはやっと顔を出しました!



【発芽状況】暑い日が続いたこともあり、昨年より早く発芽したように思います。

種類(発芽順)	種の個数	発芽
①アサガオ	4	3
②ゴーヤ	9	6
③ヘチマ	4	2

フルイを購入!古い土を丁寧にフルイにかけ、腐葉土、配合飼料を入れて苗床を作り、本葉が3枚程度になったので5月13日に本植えました。

1か月目の発育状態(5月21日撮影)



アサガオ13cm ゴーヤ18cm ヘチマ10cm

次の作業は添え木とネット張り、花芽の受粉! その次が楽しみです。

ほかにもこんな講座を開催しています!

「緑のカーテンを作しましょう」(上記)

「間伐材を使って楽しい工作をしよう」
(5月17日)

「園芸講座/春の寄せ植え」(5月26日)

「JALそらエコ教室」(5月31日)

「アートで素敵なエコバッグ作り」
(6月7日)

「LEDとふしぎなシートで光の実験と
工作をしよう」(6月21日*)

「風鈴と団扇づくり」(7月5日*)

「リサイクルが進む容器包装」(7月12日*)

「容器文化ミュージアムで
タイムカプセル缶を作ろう」(7月28日*)

【夏休み中】

「生きもの博士になろう」(*)

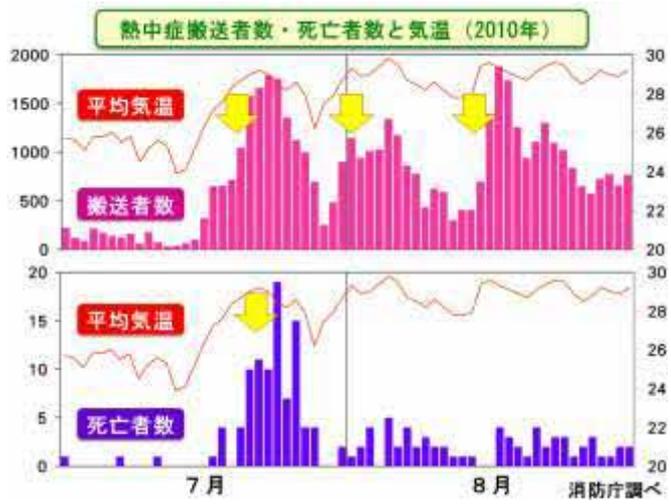
「気象予報士から学ぼう」(*)

(*) 6月15日現在開催予定

熱中症に要注意

ジメジメとした梅雨が終わると、いよいよ夏本番！関東地方の梅雨明けは平年ですと7月21日、ちょうど学校の夏休みが始まる頃です。海水浴やキャンプ、プールと夏のレジャーが楽しみですが、気をつけなくてはならないのが熱中症です。

と言うのも、みなさん何となく感じているかもしれません、日本の夏はどんどんと暑くなっています。2013年には高知県四万十市で日本の観測史上の最高気温41.0℃を記録、2007年にも埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市で40.9℃を記録しています。東京など都市部では、夜の気温も高くなっています。東京の熱帯夜の日数は30年前と比べると約2倍に増えています。夏が暑くなっている理由は主に2つあります。1つは地球温暖化で、温室効果ガスの増加により世界全体の気温が上昇しています。もう1つはヒートアイランドで、ビルのコンクリートや道路のアスファルトなどが熱をため込み、特に夜の気温が下がらなくなっています。



では、いつどんな時に熱中症に気をつければよいのでしょうか？時期としては夏の初めの暑くなり始めが要注意です。グラフは2010年猛暑の年の日々の気温と熱中症の搬送者数、死亡者数です。気温が急に上がった時に熱中症の搬送者数が増えていることがわかります。気温の変化に体がすぐに順応できないためです。さらに死亡者数を見ますと、7月後半に最初に暑くなった時に集中しています。これは体が暑さに慣れていないためです。梅雨が明けて本格的な真夏の暑さが始まる時には、特に熱中症に注意をしてください。

年齢別に熱中症の発生率を見ますと、65歳以上の高齢者の発生率が特に高くなっています。高齢になるほど暑さへの適応力が弱まり、のどの渇きにも気づかないなど、体の変調を認識する力も弱まるためです。高齢者は屋内で熱中症になることが多く、夜間の発生も多くなっています。無理をせずエアコンなどで室内の温度を調節して、のどが渇く前に水分補給をすることが大切です。また子どもの発生率も高くなっています。スポーツ大会やクラブ活動など炎天下で体を動かす機会が多いためです。真夏のスポーツは、こまめな休憩と水分補給など、しっかりとした熱中症対策が欠かせません。



楽しい夏休み、熱中症の事故のないように気をつけて過ごしていただきたいと思います。

（気象キャスターネットワーク 気象予報士 水越祐一氏）

リサイクルショップ リボン（大井町店）からのお知らせ

本年4月よりホームページ（HP）で商品情報の提供を行っています。
HP：品川区リサイクルショップ「リボン」大井町店で検索・・・「買いたい」からご覧ください。
 現品をご覧になりたい方は、
 ①当店までお電話を下さい。TEL：03(5742)6933
 ②店頭で現品をご覧いただきますので、ご覧いただく日時のご予約をしていただきます。
 ③ご購入いただく場合は、現品をご覧いただいた上で、店頭でお願い致します。

しながわECOだより 2015年度Vol.1
 発行：品川区都市環境部環境課
 編集：特定非営利活動法人 エコタウンしながわ
 発行日：平成27年6月15日
 住所：〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区環境情報活動センター内
 TEL/FAX：03-5742-6533
 E-mail：center@shinagawa-eco.jp
 HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2015年度 Vol.2



環境学習講座のご案内

10~12月の子ども&大人向け講座計画です



都会の鳥～観察と発見の楽しみ

大人向け

何十年にわたってスズメやツバメ、カラスなどを観察していると、これまで気が付かなかった新しい発見があります。

(対象：一般) *講師著書→

- 開催日/10月18日(日)
- 募集/9月21日から
- 講師/唐沢孝一氏 (NPO法人自然観察大学 学長)



マレーシアボルネオ島の世界自然遺産

キナバルパークと周辺の大自然

大人向け

動植物の楽園であり宝庫でもあるキナバルの壮大な大自然のご紹介。(対象：一般)

- 開催日/11月3日(火)
- 募集/10月1日から
- 講師/倉田智子氏 (環境省環境カウンセラー)



試作!工作!アニメマシン

小学生

アニメーションの仕組みを学んだ後、廃材や身近な素材などを使って、環境にやさしいアニメーション工作を行います。(対象：小学生/3年生以下は保護者同伴)

- 開催日/11月8日(日)
- 募集/10月11日から
- 講師/久保利加子氏 (茨城県おもしろ理科先生講師)



面白そうでしょう!

どんぐりカレンダーを作ろう

小学生 保護者

どんぐりを使って毎月使えるカレンダーを作ります。(対象：小学生と保護者)

- 開催日/11月15日(日)
- 募集/10月21日から
- 講師/丸山均氏 (しながわ区民公園管理事務所長)



異常気象と人類の選択

大人向け

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次報告書の主執筆者が温暖化問題の本質について語ります。「地球の病気」ともいえる温暖化にどう向き合っていきますか。(対象：一般)

- 開催日/11月24日(火)
- 募集/10月21日から
- 講師/江守正多氏

(国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長) IPCC第5次評価報告書



*講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

エコ素材で作る... 香り豊かな入浴剤「バスポム」

小学生

「バスポム」とは、溶ける際にシュワッという音を楽しむことができる入浴剤です!

- (対象：小学生/3年生以下は保護者同伴)
- 開催日/11月29日(日)
- 募集/11月1日から
- 講師/深澤秀治氏 (環境教育振興協会理事)

手作りを楽しみましょう!



米袋!?で楽しいウォールポケット作り!

大人向け

意外な素材のリサイクルでユニークなウォールポケット(壁かけ)を作るクラフト講座です。(対象：一般)

- 開催日/12月6日(日)
- 募集/11月1日から
- 講師/竹中信子氏 (リサイクルアート作家)



NPO法人エコタウンしながわでは、出前講座「お天気教室」のご希望をお受けしています。

対象:品川区内幼稚園・保育園、小学校、中学校、各地域グループ・町会

時期:平成27年10月～平成29年3月(確定順に4講座)

講師:気象予報士 費用:無料

連絡先:環境情報活動センター内

NPO法人エコタウンしながわ

TEL・FAX:03(5742)6533

E-mail:center@shinagawa-eco.jp

★講座例:

「天気の不しぎと気象実験」(小学校)

ペットボトルで雲を作ろう

「簡単に雲ができちゃった」

「おてんきとくもとあめのおはなし」

「いろいろな道具を使って虹を見よう」

(幼稚園・保育園)

講師:「雲に乗れるかな?」

園児のみなさん:「乗れない!」



台風に備えましょう

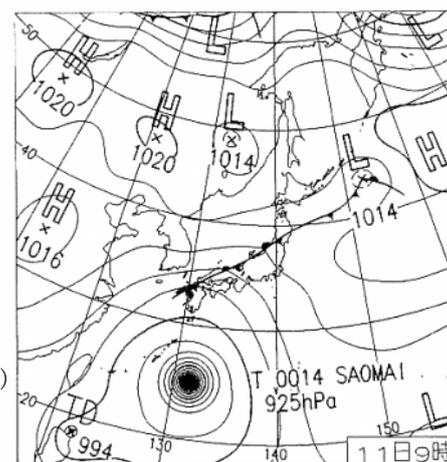
秋は台風にも最も注意が必要な季節です。過去にも伊勢湾台風や室戸台風など、歴史に名を刻むような大きな被害をもたらした台風が秋に襲来しています。最近では2013年10月に関東地方に接近した台風26号が記憶に新しいところです。特に伊豆大島の被害が大きく、大規模な土石流が発生して死者行方不明者は39人にのぼりました。

なぜ秋は台風による災害が起りやすいのでしょうか?理由は2つあります。

1つ目の理由は台風のコースです。夏は日本列島を勢力の強い太平洋高気圧が覆っているため、台風は高気圧に阻まれて日本列島に接近することができません。しかし秋になると太平洋高気圧は勢力を弱め、日本列島の南海上に後退していきます。するとガードを失った日本列島に台風が接近しやすくなるのです。



2013年台風26号による伊豆大島の被害 (Google)

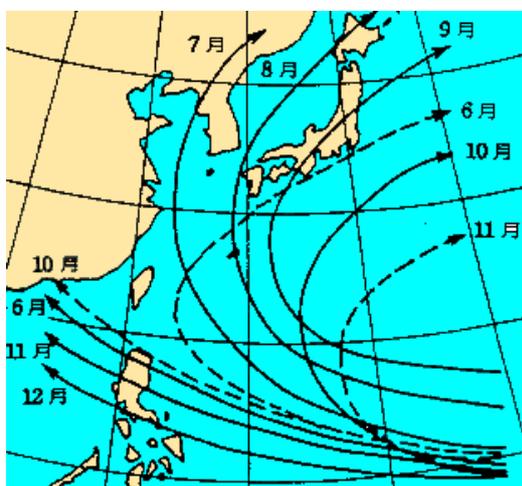


2000年9月12日 東海豪雨の天気図(気象庁)

台風が日本列島から離れていても大雨になることがあります。2000年の東海豪雨では、台風14号は沖縄付近にありましたが、台風の湿った空気が秋雨前線に流れ込み、東海地方で大雨となりました。

また、将来的には地球温暖化により、これまでになかったような大きな台風災害が起こる心配もあります。地球温暖化が進むと、台風の総数は減りますが、勢力の強い台風が増えると予想されています。さらに日本周辺の海水温が高くなることで、巨大化した台風が勢力を保ったまま日本列島に接近する恐れがあります。これまでの想定を超える大雨や暴風、高潮が発生する可能性もあります。川の堤防や防潮堤などハード面の対策を進める必要がありますが、台風予測精度の向上や防災情報の充実などソフト面の対策も重要です。情報を受け取る私たちの防災意識を高めることも大切だと思います。

(気象キャスターネットワーク 気象予報士 水越祐一氏)



台風の月別の主な経路(気象庁)

環境記者活躍中



★京浜運河でイボニシが産卵

運河の中でイボニシが産卵していました。以前、船の船底塗料の影響でメスのオス化で産卵できなくなってしまうと騒がれ、新聞などで報道された貝です。最近になってから運河の中でも少し見られるようになりました。肉食性の貝ですが、卵の割には成貝になるのは非常に少ない貝です。運河の中で一生懸命生きている品川区の「住民」です。



イボニシ（2匹）と卵です。2015年8月2日撮影
中央左の黄色い細長い塊が卵（赤の楕円の中）
親（イボニシ）は卵の右に2個体います（緑の円の中）

（環境記者 青野良平氏）

★しながわ区民公園の朝

しながわ区民公園は6時に開園！6時前から開門を待つ人たちがいます。この日は平日のためか熟年世代が多く、みなさん健康維持のためのウォーキング！

夏場も公園内はひんやり、外気温より2～3℃は低いようで、避暑を兼ねて公園散歩をしている人がいました。また、自発的に集まった人がラジオ体操を行っていました。悪天候以外年中無休で音楽を流すボランティアを19年間続けている人も。この日は120名ぐらいが参加、週末はもっと大勢集まるようです。毎日参加し、体操の前後のあいさつで健康と地域のよいコミュニケーションの場になっているようです。

（環境記者 真壁美枝子氏）



区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、現在「区民環境記者」を募集しています。個人またはグループで取り組んでいる環境活動、環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を、区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。

区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで

E-mail: center@shinagawa-eco.jp

TEL: 03-5742-6533



夏休み子ども環境学習講座

生きもの博士になろう（7月18,22,25日）

①「感じてみよう！生きものたちのおしゃべり」

五感を使ったゲームや自然観察を通して、生きもののコミュニケーションの方法を探りました。ハーブを使ったエアフレッシュナー作りも行いました。



②遊んで発見！植物の魅力

葉っぱの形・におい・感触などを遊びながら発見してもらい、自然の面白さを学びました。葉っぱのスタンプでエコバック作りをしました。



③みんなで体験！昆虫のふしぎ

見たり、聞いたり、触ったり…五感を使って昆虫のふしぎを学びました。公園で採集したセミの抜け殻で標本作りもしました。



気象予報士から学ぶ気象と環境（8月1,2,3日）

①暑すぎる！東京のふしぎ発見

都会が熱くなっている理由や、暑さや紫外線から身を守る方法を学ぶとともに、いろいろな器具を使って暑さの差を体験しました。



②突然の大雨に気をつけよう

クイズを交えて雲、雨、雷、竜巻についての話を聞き、雲や雷を作る実験をした後、自然災害から身を守る方法を学びました。



③地球温暖化ってなんだろう？

2100年の天気予報では、40度を軽く超える夏、猛烈な台風の直撃…、こんな未来に本当になってしまうのでしょうか？温暖化の仕組みを学びました。



講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。

こんな講座を開催しました（平成27年5～8月）

●間伐材を使って楽しい工作をしよう

（小学生と保護者／5月17日）

森とそこに棲む動物のつながりや、森を守るために間伐が必要だということを学びました。間伐材をノコギリで切って積木作りをしました。



●JALそらエコ教室(*)

（小学生／5月31日）

世界の温暖化の現状や、飛行機のエコな飛ばし方、新しい航空燃料の研究への協力などJALが行っているエコ活動について、また普段耳にすることができない貴重なお話を聞くことができました。



●アートで素敵なエコバッグ作り

（一般／6月7日）

デザインのヒントを得るため、文化人類学を絡めたアートの話、エコをデザインする例などを見た後、牛乳パックでオリジナルステンシルに挑戦しました。



●LEDとふしぎなシートで光の実験と工作をしよう

（小学生／6月21日）

3色のLEDの組み合わせでいろんな光の色ができることを学ぶとともに、不思議なシート(回折シート、偏光シート)を使ってきれいな虹の模様を見たり、黒い壁を鉛筆が突き抜けるように見える不思議な筒を作りました。



●風鈴とうちわ作り

（小学生以上／7月5日）

地球温暖化についてのお話や風を利用して涼をとる体験・実験をした後、古来の夏の風物詩である「うちわ」と「風鈴」を作りました。



●リサイクルが進む容器包装

（一般／7月12日）

びん・缶・ペットボトルの製造とリサイクルについてのお話を聞きました。軽くなった容器やペットボトルのリサイクルの方法については、参加者から「目からウロコでした」とのコメントがありました。



●バナナのDNA抽出実験で生きものの保護について学ぼう

（小学生と保護者／8月9日）

バナナのDNA(遺伝子)を抽出する作業を通して、生きものの仕組みや不思議、自然や生命の大切さを感じてもらうことができました。



●太陽エネルギーでお湯を作ろう

（小学生／8月16日）

太陽エネルギーの様々な利用、太陽熱温水器の仕組みなどについて学びました。水の入った冷水筒に太陽光を当てて水を温める実験を行い、太陽エネルギーの大きさ実感しました。



会場：品川区環境情報活動センター (*)は区役所講堂

《体験型環境学習講座》

容器文化ミュージアムで タイムカプセル缶を作ろう

<会場>
東洋製罐グループ
ホールディングス
容器文化ミュージアム

（小学生と保護者／7月28日）

容器包装について、その役割や環境への配慮などを学んだ後、数年後の自分に向けた手紙を入れた「タイムカプセル缶」を作りました。



講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。

しながわECOだより 2015年度Vol.2

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日：平成27年9月15日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2015年度 Vol.3



環境学習講座のご案内

1月～3月の
大人&子ども向け
講座予定

大人向け

賢 江戸落語に出てくる環境嘸

江戸は世界に誇る究極のエコ社会でした。江戸落語の中にあるエコをテーマにした環境嘸をご紹介します。

(対象：一般) *講師著書→

- 開催日/1月24日(日)
- 募集/12月11日から
- 講師/菅野俊輔氏 (江戸文化研究家)



小学生

お天気のおしぎと 雪の結晶作り実験

雲や雨などお天気のおしぎを学び、楽しい実験を行います。雪の結晶作りにも挑戦します。

(対象：小学生)

- 開催日/2月21日(日)
- 募集/1月21日から
- 講師/日本気象予報士会
サニーエンジェルスのみなさん

ちっともむずかしくないわ!



大人向け

古布で作る手作りふくさ

古い着物を再利用して、祝儀用または不祝儀用どちらかを選んで、ふくさを作ります。

(対象：一般) *作品例→

- 開催日/2月28日(日)
- 募集/2月1日から
- 講師/南朝子氏 (リメイク絆)



こんな手作り素敵です!

春の子ども環境学習講座

小学生

いっしょに学ぼう! 生物多様性

ゲームや工作を通して生態系や生物多様性、環境問題について学びます。(対象：小学生)

- 開催日
 - ① 3月19日(土) (小学1、2年生)
オオクワガタすごろくゲーム
～生き物折り紙作り～
 - ② 3月20日(日) (小学3、4年生)
生物多様性カードゲーム
～オリジナルカード作り～
 - ③ 3月21日(祝) (小学4、5、6年生)
海の生物のおしぎ
～魚(乾燥)と貝(生)の解剖～
- 募集/2月11日から
*往復はがきのみ募集
- 講師/SAPIX 環境教育センター



小学生 保護者

風力発電機を作ろう

再生可能エネルギーとしての風力発電と電気について学び、ペットボトルや牛乳パックなどを使って風力発電機の工作をします。

(対象：小学生と保護者)

- 開催日/3月6日(日)
- 募集/2月1日から
- 講師/杉山仁氏 (蔵前理科教室おしぎ不思議)

うまくいかなドキドキだね!



* 講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページにて募集開始日から掲載します。ご応募お待ちしております。

雪のふしぎ

◆なぜ日本海側に雪がたくさん降るの？

日本列島の日本海側の地域は世界的にも有数な豪雪地帯です。また平野部では世界で最も低緯度にある積雪地帯です。この特異な気候に大きな役割を果たしているのが日本海です。

(図1：日本海側に雪が降るしくみ↓)

冬になるとシベリアの寒気団から冷たい季節風が、日本海を渡って日本列島に吹きつけます。日本海には暖流の対馬海流が流れているため比較的海水温が高くなっています。季節風は暖かい日本海で大量の水蒸気を供給されて雲を発生させ、その雲が日本列島の脊梁山脈にぶつかって日本海側の地方に雪を降らせるのです。

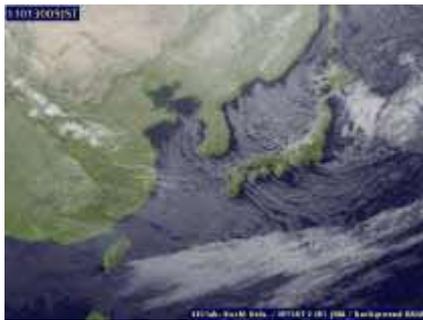
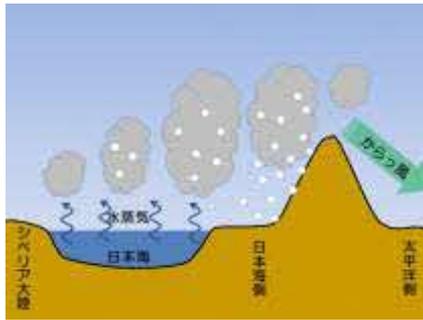
気象衛星の雲画像(図2：冬の季節風が吹いた時の気象衛星画像→)を見ると、日本海で発生した雲が日本列島に流れ込んでいる様子が良く分かります。

◆太平洋側で雪が降るのは？

太平洋側でも一冬に何度か雪の積もることがありますが、そのしくみは日本海側とは全く異なります。太平洋側に雪を降らせるのは低気圧です。

(図3：太平洋側に雪を降らせる南岸低気圧→)

日本列島に強い寒気が入っている時に低気圧が通過すると雨ではなく雪になります。雨になるか雪になるかを分けるのは低気



圧の進むコースです。低気圧が日本列島より北側や真上を通過すると、低気圧が暖かい空気を引き込むので雨になります。太平洋沿岸を通過するときに雪になるのです。関東地方は北東の海から冷たい空気が入りやすいので太平洋側の中では雪の降りやすい地域になります。

◆雪の功罪

2011～2012年の冬には、全国の24地点で積雪の深さの観測史上1位を更新するなど記録的な大雪となり、雪による死者は雪下ろし中の事故など全国で合わせて128人にのぼりました。また2014年2月14～15日には関東を中心に大雪になり、広い範囲に交通障害や農作物の被害などが発生しました。

(図4：埼玉県秩父地方のビニールハウスの損害/2014年2月の大雪被害↓)

[提供：秩父農林振興センター]



大雪になると、農業や交通機関、ライフラインにも大きな被害が出てしまいます。一方で雪はスキー場など大切な観光資源ですし、山形のかまくらなど雪国ならではの文化も生まれ、春には雪解け水が大切な水資源になります。大雪への防災対策を推進するとともに、雪国の生活や文化を大切に受け継いでいきたいですね。

(気象キャスターネットワーク
気象予報士 水越祐一氏)

区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、

「区民環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報、資源回収情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を、区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。

区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで



E-mail : center@shinagawa-eco.jp

TEL : 03-5742-6533

環境記者活躍中



環境記者の皆さんから、お住まいの近くでの環境活動やリサイクルについて、季節の話題や生きものの観察など、いろいろな話題を提供していただいています。その中から一部（要約）をご紹介します。

ECO保育園

大崎ひまわり保育園（大崎駅北口徒歩5分）は、屋上40㎡（園庭）緑化を取り入れた「ECO保育園」です。

雨水利用タンク設備の導入、ECOプランターの設置、咲き終わった草花と固くなった土の再利用で「循環型ECO」を目指しています。種～苗～収穫～土壌に還元～肥えた土壌に変身させることにより廃棄ごみを発生させません。また生ごみ乾燥器の導入で、土壌に還元しています。



大井埠頭中央海浜公園でウラギンシジミ発見！

大井埠頭中央海浜公園に行き、自然観察をしました。なぎさの森・バーベキュー開放区（新平和橋寄り）でウラギンシジミを観察しました。これまでに見たことない綺麗な蝶でしたので、思わずシャッターを押しました。後で調べましたら大変貴重な蝶で、シジミチョウの仲間。普段見るシジミチョウより一回り大きく、見ることができてとてもラッキーでした。



環境記者情報交換会

環境記者の皆さんがお持ちの環境情報や、お感じになっている環境に関する話題についてお話しいただきました。

- ・仲間と一緒に、国道一号線沿いの花壇で、年2回の植栽と毎月の手入れをしています。
- ・マンションの住人でハトにエサを与える人がいます。階下の方はハトのフンで迷惑を被っています。犬のフンの処理ではマナーを守る人とそうでない人がいますが、マナーを守って気持ちの良い環境にしたいですね。



- ・わが家の庭にスズメバチがいて、威嚇してきて怖いです。
- ・西洋アサガオが狂ったように咲いています。
- ・11月、大崎駅前の花壇の手入れを行います。
- ・今年も緑のカーテンを作りました。無農薬栽培のゴーヤの苗を購入したので、無農薬・無肥料栽培に挑戦しました。結構涼しくなります。



- ・会社の花壇に植えているヤマボウシに実がなりました。熟すと赤くなり、食べられます。ほんのり甘くておいしいです。
- ・通勤途中で天王洲橋を渡っているとき、カワセミを見つけました。10年以上この橋を渡って通勤していますが、初めてです。
- ・デジタル地球儀「触れる地球」の紹介です。電気式の地球儀で、雲画像、過去の気象記録、温暖化の状況等を見ることができます。
- ・東京湾「海の森」で開催される「秋の植樹まつり」に会社の仲間10名ほどで参加する予定です。私の所属する会社では、環境貢献活動の一環として参加しているのですが、残念ながら植樹の一般募集は今年が最後だそうです。
- ・「海をきれいにするためには川をきれいにするためには森を作らなければならない」という運動を続けている畠山重篤氏の紹介です。同氏は森をきれいにする事の大切さを訴え、自然を守ることが人間とどういう関係にあるのかを研究しています。

こんな講座を開催しました（平成27年9～11月）

●大人のおもしろ気象学（一般／9月13日）

元気象庁予報官で気象予報士の平沼洋司氏を講師としてお招きし、天気の不思議や天気予報の難しさなどについてお話していただきました。

【受講者の声】

日頃疑問に思っていたことを知ることができた。天気予報の作られ方や天気図、気圧などいろいろと新しいことを知りました。



●さき布から「ぞうり」を作ろう

（一般／9月25、27日）

受講者にお持ちいただいた古布を使ってぞうりを作りました。講師オリジナルの作業台を使った2日にわたっての講座でした。ほとんどの方が一足仕上げられました。



●光マジックライトでおもしろ実験をしよう

（小学生／10月4日）

光と色、温度の関係など、光の不思議について学び、LEDの省エネ実験、分光シートでカラー万華鏡作り、マジックライトでお絵かきをしました。



【受講者の声】実験もあって良かった。体験できる光の実験はとても面白かった。

●都会の鳥～観察と発見の楽しみ

（一般／10月18日）

身近で見ることができるツバメの生態を通して、人と都市環境について講義していただきました。何十年にわたって継続して観察してみると、それまで気が付かなかった新しい発見があることもお話いただきました。



●宇宙船地球号の秘密と星座早見盤作り

（小学生／10月25日）

宇宙の中では希な星、地球ってどんな天体なのでしょう。無数の星を探しながら、大宇宙について学び、星座早見盤を作りました。



【受講者の声】身近な環境について学ぶことも大切だが、宇宙について興味を持つことも大切だと感じた。地球、宇宙の歴史がわかってよかった。

●マレーシア・ホルネオの世界自然遺産キナバルパークと周辺の大自然

（一般／11月3日）

公園の中では「とっていいのは写真だけ」「残していいのは足跡だけ」です。自然を守ることの大切さを再認識していただきました。



【受講者の声】10年程前にコタキナバルへ旅行した事があり、なつかしく興味深く聞いた。先生の自然、特に植物の知識博識に感動した。キナバルに行ったような気になった。

●試作！工作！アニメマシン

（小学生／11月8日）

様々な装置を使ったデモンストレーションを見たり、一人ひとりがおもちゃを動かして試してみても、アニメの原理に触れた後、実際にアニメマシンを作ってみました。



【受講者の声】アニメの原理の詳しい説明があり、実践することができて非常にためになった。教材もすごく工夫されていて良かった。

●どんぐりカレンダーを作ろう

（小学生／11月15日）

「どんぐり」という名前の木はない…!?!」どんぐりについて学んだ後、マテバシイの実などを材料として、考え、工夫して、自分なりのカレンダーを作りました。

【受講者の声】みじかなもので、すごいものがつくられてびっくりです。どんぐりや公園の話が聞けてよかった。途中から大人の方が夢中になってしまった。



しながわECOだより 2015年度Vol.3

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日：平成27年12月14日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ
http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/でご覧いただけます。

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2015年度 Vol.4

今後の環境学習講座のご案内

大人

緑のカーテンを作しましょう

ゴーヤや朝顔などで緑のカーテン作りをします。鉢と土に種を蒔くところまでを行い、育てるコツを学びます。

(対象：中学生以上)

- 開催日/4月17日(日)
- 募集/3月21日から
- 講師/丸山均氏(しながわ区民公園管理事務所長)



間伐材の

親子

森と動物のふしぎ〜積木でゲームをしよう

森の樹木の役割を学び、各々がノコギリで間伐材を切ってみます。毎年大好評の低学年対象の講座です。

(対象：3年生以下の小学生と保護者)

- 開催日/5月15日(日)
- 募集/4月11日から
- 講師/佐々木重孝氏
(株式会社樹楽製作所代表取締役社長)



小学生

南極を知る、体験する

元南極観測隊員を招き、“ブリザードの風速”を体感したり、南極の氷に閉じ込められた2万年前の“弾け出る大気の音”を聞いたり…本物を体験できる講座です。

(対象：小学生)

*3年生以下は保護者同伴)

- 開催日/6月5日(日)
- 募集/5月1日から
- 講師/元南極観測隊員
(株式会社ミサワホーム総合研究所)

プロフェッサー：
国立極地研究所



気楽な

大人

アート鑑賞とエコ:コラージュBOX作り

エコの視点でアート作品を鑑賞した後、雑誌の切抜きなどで、箱または立体の作品を作ってみましょう。(対象：中学生以上)

- 開催日/6月12日(日)
- 募集/5月11日から
- 講師/大野有紀子氏(エコアート作家)



小学生

地球にやさしいエコエンジンを作ろう

温度差による気体の膨張、収縮で作動するエンジンです。空き缶を利用して作ります。*エコエンジン→

(対象：小学生)

*3年生以下は保護者同伴)

- 開催日/6月19日(日)
- 募集/5月21日から
- 講師/新井俊雄氏
(コンセプトプラス株式会社代表取締役)



大人

家庭で実践できる草木染

玉ねぎ、ブドウの皮などの染色液を使って、草木染を体験します。(対象：中学生以上)

- 開催日/7月3日(日)
- 募集/6月1日から
- 講師/田村健治氏
(首都大学東京 東京都立産業技術専門学校准教授)



親子

風鈴とうちわ作り

「涼」を感じる昔ながらの知恵…楽しく作りましょう。(対象：小学生と保護者)

- 開催日/7月10日(日)
- 募集/6月11日から
- 講師/深澤秀治氏(一般社団法人環境教育振興協会理事)



* 講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページにて募集開始日から掲載します。ご応募お待ちしております。

早くなっている桜の開花

(気象キャスターネットワーク気象予報士 水越祐一氏)

今年もそろそろ桜の開花の便りが各地から届く季節ですね。

ニュースで「桜の開花が発表されました」と聞く時、いったいどの桜が咲いたことを言っているのでしょうか？ニュースの「桜の開花」は、気象台の発表のことを言う場合が多いです。気象台の桜の開花の観測は、ある一本の木を標本木に決めて行い、標本木の花が5～6輪以上開いた日が「開花日」になります。標本木が咲かないと他の木の花が咲いても気象台の開花は発表されません。標本木は、桜の名所にある場合と気象台の構内に植えられている場合があります。東京の標本木は靖国神社に、大阪は大阪城公園、名古屋は気象台構内にあります。

さて気になるのは、いつ桜が見頃になるのかですね。桜の開花予想は色々な気象会社が発表していますので見比べてみるとおもしろいかもしれません。気象キャスターネットワークの開花予想もホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

(<http://www.weathercaster.jp/web/sakura/>)

気象会社によって予想の手法は若干違いますが、基本的に考えられている開花のメカニズムは同じです。桜の花芽は、夏頃にはできあがり、休眠に入ります。花芽は冬の寒さに一定期間さらされると休眠から目覚めます。これを休眠打破といいます。その後花芽は、暖かくなるにつれて生長し、開花しま

す。開花予想には、冬の寒さと春の暖かさの両方を考える必要があるのです。冬が寒かった年は休眠打破が順調に進むため開花が早まる傾向があります。一方で暖冬の年には花芽の目覚めが遅れるため開花が遅くなります。今年はこの例かもしれません。このような年は九州南部や四国など暖かい地方の開花が特に遅くなり、関東地方のほうが先に咲くこともあります。

近年、桜の開花の時期に変化が出始めています。東京の桜の開花は過去50年で約5日早くなりました。以前は入学式の頃に満開になることが多かったのが、最近ではその頃にはすっかり葉桜になってしまっていることも多いです。気候の温暖化が桜にも影響しているのです。気候変動が進むことで、桜の開花の時期がずれるだけでは

なく、桜が咲かなくなるといった影響が起こりうることも専門家により指摘されています。桜は古くから人々の生活に潤いを与え、多くの文学に取り上げられるなど、日本人の文化や生活に深く根付いてきました。桜のある暮らしを守るためにも、地球温暖化を防ぐ努力を心がけたいですね。



本紙は3月15日発行ですので、桜が散った後にこの記事をお読みいただいているかもしれません。(編集者)



品川区環境課のキャラクター **エコラ** です。

Q：名前の由来は？

A：“エコ”と恐竜らしい名前を組み合わせつけてみました。

Q：なぜ恐竜のデザインなの？

A：過去に地球環境の影響で絶滅した恐竜のデザインにすることで、人間も同じ目に合わないようしようというメッセージを込めています。



Q：いろいろなエコラがいるのですか？

A：エコラの色は基本は黄色系ですが、ピンクの女の子や小さな子どももいます。環境課のイベントで見かけたら、可愛がってくださいね。



お天気教室

主催：NPO法人エコタウンしながわ

★保育園で虹のお話

品川区立荏原西保育園で「にじとひかりのふしぎなおはなし」がありました。

当日はインフルエンザのためお休みの園児が多く、出席者は7人でしたが、みんな真剣にお話を聞いてくれました。虹が見えるのは、いつ、どんな時でしょう？ みんな元気に手を挙げて答えていました。



★小学校で気象科学実験

品川区立山中小学校「山中おやこエコクラブ」で、お天気講座「天気のおしごとと気象実験」が開催されました。

アルコールランプ、ビーカー、ピペットなど、いろいろな理科実験器具を使い、ビーカーの中で積乱雲を作ったり、雨を降らせたりしました。どのようにして雲ができるかなどを学び、理科実験を楽しみました。最後に実験で見たこと、聞いたこと、感じたことを書き、発表しました。



マンションのきれいな「ごみ出し」

本紙の愛読者から、あるマンションにおけるきれいな「ごみ出し」やペットボトルのキャップ回収について投稿がありましたので、お話を伺いました。

そのマンションは「プライム東大井」（品川区東大井）で、管理員の杉浦富美夫さんを訪ねました。

杉浦さんはマンション管理会社エードの管理部に所属し、平成22年7月からこの仕事をしていらっしゃいます。杉浦さんが着任した当時の状況は、ごみ集積場内はポリバケツを移動するとゴキブリの大群が移動し、集積場内もごみ特有の臭いがしていました。ごみはエントランス前の公道に出していますが、ごみの臭いとカラスが散乱したごみで通行人に迷惑をかけていました。杉浦さんは以前の経験から、ごみの袋を二重にすることによって臭いをなくしました。今ではゴキブリは一匹もいなくなり、カラスによるごみ散乱もなくなったそうです。

ペットボトルのキャップはこの5年半で16万個を小中学校に届け、400本のワクチンを寄贈したことになります。居住者の神久（しんく）様には、5年半にわたり学校への寄贈にご協力いただき、心より感謝しているとお話でした。



なお、近くのマンションの清掃員や管理組合の理事の方が「プライム東大井」の清掃状況の見学に来ておられるそうです。

みんなで地域清掃活動

都営東品川第三アパート自治会では、年3回アパート前の道路500mの清掃活動を行っています。同アパートには約170世帯がお住まいで、その中の約30世帯が清掃活動に参加していらっしゃいます。



この活動を始めたきっかけは自然に沸き上がった声でした。

「楽しみながら体を使おう」「多少腕が不自由でも、もう一方の腕があるではなか、リハビリ感覚でやろう」

「はじめての地域貢献活動だ」「ボランティア活動しよう」「でも、活動頻度はあまり多くない方がよい」「少しずつ回数を増やしていけばよい」など、多くの意見が出ました。

たばこのポイ捨てはまだありますので、これも拾います。道路沿いの草むしりをする人もいます。会話を楽しみながらの清掃活動は、充実したひと時になっているとのことでした。



平成27年度はこんな講座を開催しました

環境情報活動センターでは、「環境」をテーマとした楽しい講座を開催しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

一般		小学生	
開催月	テーマ	開催月	テーマ
4	緑のカーテンを作りましょう	5	間伐材を使って楽しい工作をしよう
5	【園芸講座】春の寄せ植え	5	JALそらエコ教室
6	アートで素敵なエコバッグ作り	6	LEDとふしぎなシートで 光の実験と工作をしよう
7	風鈴とうちわ作り	7	【体験型環境学習講座】 容器文化ミュージアム
7	リサイクルが進む容器包装	7	生きもの博士になろう①②③
9	大人のおもしろ気象学	7	気象予報士から学ぶ気象と環境①②③
9	さき布から「ぞうり」を作ろう	8	バナナのDNA抽出実験で 生きものの保護について学ぼう
10	都会の鳥～観察と発見の楽しみ	8	太陽エネルギーでお湯を作ろう
11	マレーシア・ボルネオの世界自然遺産 キナバルパークと周辺の大自然	10	光マジックライトでおもしろ実験をしよう
11	異常気象と人類の選択	10	宇宙船地球号の秘密と星座早見盤作り
12	米袋!?で 楽しいウォールポケット作り	11	試作！工作！アニメマシン
12	【園芸講座】お正月の寄せ植え	11	どんぐりカレンダーを作ろう
1	江戸落語に出てくる環境嘸	11	エコ素材で作る香り豊かな入浴剤 「バスボム」
2	古布で作る手作りふくさ	2	お天気のふしぎと雪の結晶作り実験
講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。		3	風力発電機を作ろう
		3	いっしょに学ぼう！生物多様性①②③ (*)

●お天気のふしぎと雪の結晶作り実験

(*) 3月12日現在予定

(小学生/2月21日)

ペットボトル、つけもの器、缶コーヒー、マシュマロなどを使った楽しい気象実験と、雪の結晶がどのようにしてできるかを学び、結晶作りに挑戦しました。



●古布で作る手作りふくさ (一般/2月28日)

古い着物を再利用して、手作りのふくさを作りました。裁縫の苦手な方でも、ひと針ひと針ゆっくり作ることができました。



しながわECOだより 2015年度Vol.4

発行：品川区都市環境部環境課
編集：特定非営利活動法人
エコタウンしながわ
発行日：平成28年3月15日
住所：〒140-8715
品川区広町2-1-36
品川区環境情報活動センター内
TEL/FAX：03-5742-6533
E-mail：center@shinagawa-eco.jp
HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。